

公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団
令和 6 年度事業計画書

公益目的事業

1. スペイン舞踊、音楽の人材育成事業は以下の事業を実施する。(15,641 千円)

1) フラメンコ・コンクール事業(隔年開催)

CAF フラメンコ・コンクールは隔年開催であり、令和 5 年度に開催した為、今年度は第 13 回 CAF フラメンコ・コンクール開催に向けての準備期間とする。

2) 新人公演事業

CAF フラメンコ・コンクールのファイナリスト達によるビエンナーレ・フラメンコ・フェスティバル(財団設立記念公演)は、今年度は準備期間とする。

3) 海外派遣研修事業

スペイン舞踊の質の向上を目指し、本場スペインでの研修の機会を提供する海外派遣研修事業。

前年度実施された第 12 回 CAF フラメンコ・コンクールに於いて決定された優勝者と準優勝 2 名の研修費として授与された、賞金とスペイン往復航空券提供の結果報告書をまとめる。研修生の研修テーマ、期間は個人の自由とし、計画表、報告書の提出を義務づけている。通常、財団が認める特別な理由がない限り決定後 1 年以内に研修実施としている。海外留学賞の受賞者をセビージャのクリスティーナ・ヘーレン財団フラメンコ芸術学校へ留学させる。受賞者本人のやむを得ない理由により、2025 年 9 月～2026 年 6 月に渡西予定。

4) ワークショップ事業

「ほんものを学ぶ」としたフラメンコ・ワークショップ・アカデミーを東京と名古屋にて開催する。今年度のワークショップ・アカデミーは、公募にて中級以上の参加者を募り、スペイン人講師を招聘して行う。

5) 稽古場の貸与

スペイン舞踊、音楽の質の向上を目指して活動している、個人あるいは団体に財団所有稽古場を貸与する。稽古場の広告を三田線の社内に掲載し、宣伝広告する。

2. スペイン舞踊、音楽の振興、普及を目指した芸術活動助成事業(4,075 千円)

芸術活動が続けている個人・団体、及び学生が運営する団体が主催する、スペイン舞踊、音楽芸術の普及、向上につながるような国内公演、イベントの企画で、他機関からの助成を受けていないものに対して助成を行う。2024 年 3 月 12 日に実施された選考会の結果、今年度は以下の作品を助成する。

(選考委員:網谷隆司郎、稲田奈緒美、うらわまこと、新藤弘子)

<令和6年度助成作品>

中田 佳代子「中田佳代子舞踊作品『Monoría(マイノリティ)』」	120 万円
鬼頭 幸穂「Celúa PARADERO ～古びた靴の導き～」	80 万円
中里 眞央「中里 眞央フラメンコリサイタル vol.1『不退転!』Determinación」	50 万円
林田 紗綾「Estrella vol.II(エストレージャ ボリューム 2)」	50 万円
東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会 「2024 年東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会新歓公演」	30 万円
東京大学フラメンコ舞踏団「東大フラメンコ令和6年度五月祭公演」	10 万円

また、新型コロナウイルスの影響で公演延期となっている下記助成作品は、公演開催の目途が付かないことから辞退の旨連絡が入ったため、助成の対象から外することとする。

今枝友加フラメンコリサイタル「今枝友加里サイタル vol.6『SINVUELO』」	平成31年度選考 助成金額 60 万円
DANZARTE スペイン舞踊団 谷淑江「書とフラメンコ～書道とスペイン舞踊の競演～」	令和2年度選考 助成金額 60 万円

3. スペイン舞踊振興、普及を目的とする事業(964 千円)

1) スペイン舞踊振興、普及のための定期刊行物発行

財団の事業活動の案内、報告をまとめた「財団ニュースレター」を年1回発行する。全国のスペイン舞踊関係団体、メディアを中心に約1,000部配布する。電子化データもホームページ上へ掲載する。

2) ホームページによる情報発信

ホームページ上に財団の事業公開、事業の公募、結果報告、財団公演チケット販売等最新情報を随時発信する。

3) 後援名義提供

スペイン舞踊振興、普及のために、当財団が認可したスペイン舞踊公演、イベント等に後援名義を無償提供する。

- 4) スペイン舞踊振興、普及のための財団所有物の貸出
スペイン舞踊振興、普及のためにスペイン舞踊関係者に財団所有物の無償貸出を行う。